

WALRUS AUDIO LORE

INSTRUCTION MANUAL

昔々あるところに、おとぎの国の世界では、秘密の森がありました。満月の夜の前夜には、繊細で摩訶不思議な音の光が木々の隙間を残響し、反響していました。音の光は、残響を巻き戻し、時間を越えていきます。人々はそれを、Lore(ロア)と呼びました。Lore Reverse Soundscape Generator(ロアリバースサウンドスケイプジェネレータ)を使って、あなたの冒険の物語のサウンドトラックを創りあげてください。5つの異なるプログラムで構成され、ディレイとリバーブの異なる組み合わせが織りなすタイムワープしたアンビエントを創り上げます。独立したアナログフィードバックパスを持つDSPチップを2つ搭載したLoreは、リバーブと、タイムストレッチ、ピッチシフトたっぷりの冒険の旅へあなたを連れて行ってくれることでしょう。



Bypass LED

Bypass Switch

Rate LED

Tap/Dive/Rise

*Walrus Audioエフェクターの電源は、アイソレーテッドパワーサプライの使用を推奨します。デジチェーン式のパワーサプライは推奨しません。

Programs

I. リバースディレイの中にリバーブリバース

プログラム1では、リバースディレイとリバーブリバースをそれぞれのフィードバックパスに相互で組み合わせることができます。フィードバックの中で反転、反反転し、残響、さらに反転し続けながら、空間と環境を作り上げます。左に回すと少ないリバース量、右に回せば完全にリバースに、Xノブを左右に回してリバースディレイの実験をしてみましょう。不気味で巨大なマイナーコードをお楽しみください!

II. リバースディレイの中にオクターブ上リバーブ

プログラム2は、広大で、エアリー、息がもれるような空間環境と、オクターブ上のハーモニックリバーブを組み合わせた「ライトリバーブ」です。regenノブを使って、遊び心満載なキラメキをリバーブの減衰に加えてみましょう。Xノブでリバーブの減衰値を増やすことができます。繊細なフィンガーピッキングのプレイで特に効果を発揮します。

III. リバースディレイの中にオクターブ下リバーブ

プログラム3は、太くてリッチで、たっぷりと濁らせたハーモニックディストーションと、オクターブ下のハーモニックフィードバックを組み合わせた「ダークリバーブ」です。regenノブを使って、リバーブの減衰にオクターブ下の音を混ぜることができます。Xノブでリバーブの減衰値を増やすことができます。連続と連なるタイムスペース空間にハイゲインやファズを加えてみましょう。

IV. リバーブリバースの中にフォワードリバーブ

プログラム4はデュアルリバーブプログラムで、リバーブリバースの中にフォワードリバーブをフィーチャーしています。2つのハーモニックフィードバックパスが、上下のオクターブを、タイムストレッチは空間のキャラクターとサイズをコントロールします。ギターが完全にリッチな空間系パッドに早変わりします。feedbackノブでリバーブリバースにオクターブ下の音を足すことができます。逆に、regenノブでリバーブリバースの減衰にオクターブ上の音を足すことができます。Xノブを使ってフォワードリバーブの減衰をコントロールできます。空間を操るには、ダイナミックなピッキングやストロークに、空気のようなドローンとパッドをたっぷり混ぜてみてください。

V. ピッチディレイの中にピッチディレイ

プログラム5は、2つの「せめぎ合う」ピッチシフトディレイが、対峙し、時に捕い合いながら複雑なハーモニックパターンをフィードバックに作り出します。ディレイタイムの値が大きいとシーケンサーのように、そして小さいとハーモナイザーのようになります。feedbackノブとregenノブでピッチシフトされたディレイの様々な値をコントロールします。Xノブで、ピッチシフトディレイの4度と5度、そしてオクターブの音程が、ピッチシフトディレイが進むに連れて入れ替わります。短いスタッカート音で面白いリズムパートを作ってみてください!

Controls

Feedback: 最初のフィードバックパスのゲインの値をコントロールします。

- Programs 1, 2, 3 - デレイのリピート値をコントロールします
- Program 4 - 追加されたオクターブ下のリバーブの値と、リバーブのフィードバック値をコントロールします
- Program 5 - ピッチシフトされたデレイの値をコントロールします

Regen(リジェネレーション): 2つ目のフィードバックパスのゲイン値をコントロールします。

- Program 1 - リバーブのフィードバックをコントロールします
- Program 2 - オクターブ上デレイのリバーブタンクにかかるデレイ値をコントロールします
- Program 3 - オクターブ下デレイのリバーブタンクにかかるデレイ値をコントロールします
- Program 4 - オクターブ上の追加リバーブデレイの値と、それに伴うリバーブフィードバック値をコントロールします
- Program 5 - ピッチシフトされたデレイの値をコントロールします

Mod(モジュレーション): ウェット時のモジュレーションの値をコントロールします。bypassを長押しして、モジュレーションレートをmodノブで調整します。モジュレーションレートが有効の場合、bypass LEDが点滅します。目的の設定になったら、bypassスイッチを離すことで、ペダルに設定を記憶させることができます。

Mix: ウェット/ドライのミックス値をコントロールします。最左=ドライ、最右=ウェット

X: Xノブは、プログラムに応じて、役割が変化します。

- Program 1 - デレイのリバーブ値をコントロールします。左:リバーブが少なく、右:完全にリバーブされます
- Program 2 - リバーブの減衰値をコントロールします
- Program 3 - リバーブの減衰値をコントロールします
- Program 4 - リバーブの減衰値をコントロールします
- Program 5 - ピッチシフトデレイが進むに連れ、4度と5度、そしてオクターブの音程が入れ替わります

Time: プログラム1/2/3および5においてデレイタイムのリピート値をコントロールし、プログラム4ではリバーブのタイムストレッチの値をコントロールします。

Tone: トーンにかかるフィルターをコントロールします -それぞれのプログラムで異なります。

- Program 1 - バンドパスフィルター
- Program 2 - ローパスリバーブ
- Program 3 - ローパスリバーブ+ハーモニックディストーション
- Program 4 - ローパスリバーブ
- Program 5 - アウトプットとフィードバックループのバンドパスフィルター

Program: 5つのプログラムの中から選んでください。

- Program 1 - リバーブデレイの中にリバーブ
- Program 2 - リバーブデレイの中にオクターブ上リバーブ
- Program 3 - リバーブデレイの中にオクターブ下リバーブ
- Program 4 - リバーブリバーブの中にフォワードリバーブ
- Program 5 - ピッチデレイの中にピッチデレイ

Tap Tempo: デレイタイムやリバーブタイム(どのプログラムを使っているかによります)をコントロールします。tap LEDは、タップされたテンポ、あるいはtimeノブで設定されたテンポに応じて点滅します。

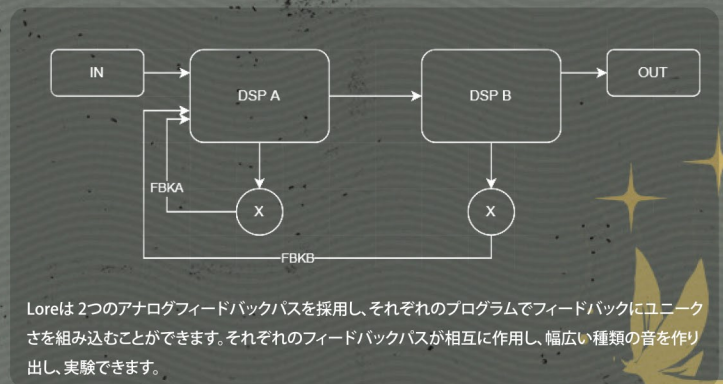
- Program 1 - デレイタイムのリピート値をコントロールします
- Program 2 - デレイタイムのリピート値をコントロールします
- Program 3 - デレイタイムのリピート値をコントロールします
- Program 4 - リバーブのタイムストレッチをコントロールし、空間の大小を創ります
- Program 5 - デレイタイムのリピート値をコントロールします

Dive / Rise: tap tempoスイッチを長押しすることで、ペダルのクロックレートを押ししている間だけ、瞬間的に上下にシフトさせることができます。ダイブの方向はbypassスイッチとtapスイッチを同時に押すことで変更できます。tapスイッチの上のLEDが緑の時はRise、青の時はDiveに設定されていることが確認できます。

Trails: LoreはTrailsモードとNo Trailsモードが搭載されています。Trailsモードでは、ペダルをオフにするとリバーブとフィードバックの減衰が自然に消えていきます。No Trailsモードでは、ペダルをオフにすると同時に減衰が消えます。Loreの出荷時は、Trailsモードがオンになっています。

Trailsモード変更方法

- 1 - 電源を入れている間、bypassスイッチを長押しします。
- 2 - 約4秒後、tap LEDが1秒間点滅すると、Trailsモードに変更されます。
- 3 - LEDが緑に点滅中はTrailsモード、赤に点滅中はNo Trailsモードです。
- 4 - 以上の動作を繰り返すことで、モードチェンジが可能です。



キリトリ線 ✂

●安全にご使用いただくために

この度はWALRUS AUDIO製品をお買い上げいただきありがとうございます。

・使用開始前に、安全ため下記の説明を良くお読みください。 ・お読みになった後は、必ず保存しておいて下さい。 ・ここに示した注意事項は、安全に関する重要な内容を記載していますので、下記の指示を必ず守ってください。

⚠ 警告: 人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。 ⚠ 注意: 人が傷害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容。

⚠ 警告

1. 火災または感電の危険を避けるため分解したり修理、改造は行わないでください。 2. 火災または感電の危険を避けるため本機器を雨や湿気にさらさないでください。

⚠ 注意

1. この取扱説明書をよくお読みください。
2. この取扱説明書で説明されている範囲を超えた保守点検作業を行わないでください。
3. 本機器を暖房器具や電熱器などの熱を発生する機器の近くに置かないでください。
4. 本機器に異物や液体が入らないようにしてください。
5. 本機器の清掃には、金属部分の先端部などでけがをしないよう注意して、乾いた布のみを使用してください。
6. 火器の近くを避け、安定した場所に保管してください。天災による事故、火災の原因となったり、地震の際に落下してけがの原因になることがあります。
7. 発火や感電の危険を避けるため本機器を濡れた手で、水の近くで使用しないでください。